年　月　日

湘南白百合学園小学校5年

民鉄新聞 ～鉄道の大切さ～

発行日
2011年8月12日
志村 菜々咲

3.11 あの時湘南台駅では

もしあの時、自分が駅にいたら、あるいは電車に乗っていたらどうなっていたのか?? あの時の状況を教えていただくためにインタビューにうかがいました。

Q1. 早期地震けいほうシステムは運転指令所からだった。2秒で自動的に通知されると聞いたのですがそれは3月11日の地震の時にも使われましたか

A. 使われました。けれど湘南台では駅に置いてある地震けいほう方が先に作動しました。

Q2. もしよろしければ地震が起きた直後の乗客のひとりの様子など覚えていらっしゃることがあれば教えていただけますか。

A. わたしはそのとき湘南台にいました。まず最初に地震が起きたことをアナウンスで知らせました。電車はたまたま入ってきていませんでした。大津波けいほうが出ていたため各列車は近くの駅についてから乗客をひなんさせました。

節電 ～この夏 小田急では～

震災のえいきょうでいつもとはちがう夏になりました。家庭や企業でもできることで節電に取り組みました。

小田急の取り組み

- 平日の日中に一部列車の運休や編成両数のさく減を行っている。
- 車内の蛍光灯の一部を取り外しているほかこまめな消灯に取り組んでいる。
- 駅コンコースに複数台ある券売機や自動改札機の一部を停止する

このほかにも、相模大野駅のコンコースでは、冷房ミストそう置をせ、置し空調による使用電力を抑制しています。

環境マーク ～マークにこめた想い～

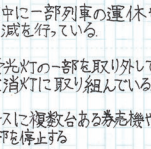
小田急は沿線にたくさんの都市と自然の過ゆを次代へ残してきることはもちろん、一つずつ実行しています。小田急では、この環境マークを使い、環境への取り組みを広げていきます。このマークは地球を象ちょうする色であると同時に小田急沿線の豊かな自然環境を感じさせる色ともいえる「みどり」と言葉。

残したいみどり 伝えたいあお

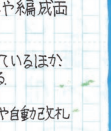
「あお」に昔日し、沿線の豊かな自然を1枚の葉っぱに社会とのふれあいや次代への想いを込もして表現しました。

コンコースって何??

鉄道駅や空港などの空間において通路が交差する場所や大通路、中央広場をさす言葉。



駅構内照明消灯か所 →



節電中のポスター →

?知ってる? 昔のロマンスカー

- 1910形 創成期の小田原特急車でのちに2000系に (1949年)
- 1700形 小田急最初の本格的な特急用車両 (1951年)
- 2300形 展望スペース付きの特急系代性能車 (1953年)
- 3000形 小田急ロマンスカーを知らしめた3E車 (1957年)
- 3100形 前面展望席を備えたスマートなNSE車 (1963年)
- 7000形 NSE車の後継としてHi車ふうにデザイン (1980年)
- 10000形 小田急の伝統を受け継ぐ現役のHiSE車 (1987年)
- 20000形 JR東海371系と共通仕様で量産する (1990年)
- 30000形 新しいイメージを追求したEX車 (1996年)

編集後記

今回の震災では、主に首都圏で800万人もの人が帰宅こんなん者となりました。いつもなにげなく使っていた鉄道がいざ使えなくなりみんなが鉄道の大切さをあらためて感じることとなりました。インタビューに快く答えてくださった駅員さん本当にありがとうございました。

車窓景観の修景

小田急では、速度により変化する印象的な車窓景観を乗客に提供することを目的に箱根にある魅力的な景観資源を活性化する「車窓景観修景計画」に取り組んでいます。計画には、箱根を特ちょうづける箱根外輪山、芦ノ湖などの景観、要素と効果的に出会える車窓景観を確保するため、邪魔物の撤去、修景植栽などの基本的な改善策を盛りこんでいます。

小田急のECO ものがたり

雨水でECO??

大野総合車両所では、敷地内に雨水の貯水槽を設置し、2004年度から貯水された雨水を車両洗浄用に再利用しています。

切符でECO??

1995年から使用済みの切符をトイレットペーパーとしてリサイクルし、駅のトイレで使用しています。

<切符のリサイクルフロー>

改えし機 → 粉さい機 → 蒸し釜 → 製紙工場 → トイレットペーパー → 駅のトイレ